

# 生体情報科学分野

## A 欧文

### A-a

1. Okada Y, Imendra KG, Miyazaki T, Hotokezaka H, Fujiyama R, Toda K: High extracellular  $Ca^{2+}$  stimulates  $Ca^{2+}$ -activated  $Cl^-$  currents in frog parathyroid cells through the mediation of arachidonic acid cascade. PLoS One 6 (4): e19158 (IF: 4.411)
2. Kimoto M, Zeredo JL, Toda K: Irritant-drinking behaviour can be modified by gravity-stress loaded in developing but not in adult rats. Stress and Health, 27(1): 34-41, 2011 (IF: 0.789)

## B 邦文

### B-a

1. 岡田幸雄, 宮崎敏博, 藤山理恵, 戸田一雄: カエル味覚円盤ロッド型細胞のセシウム透過性カリウムチャネル. 日本味と匂学会誌 18(3): 243-246, 2011
2. 高野弘子, 松田みどり, 黒瀬雅之, 山村健介, 藤山理恵, 山田好秋: 口腔保健指導が健常者有歯顎高齢者の味覚機能に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 21(2): 87-99, 2011

### B-c

1. 戸田一雄, 木本万里: 基礎解剖生理学 第3版. おうふう出版, 東京, pp. 1-449, 2011
2. 植田弘師, 戸田一雄: はじめての痛み学. おうふう出版, 東京 pp. 1-170, 2011
3. 戸田一雄 (監修): 5歳からのラルース びっくり百科事典 ひとのからだ. 世界文化社, 東京, pp. 1-22, 2011
4. 福岡伸一, 戸田一雄, 今泉忠明, 布施哲治, 村上雅人, 石垣忍 (監修): ねぇ知ってる? 大図鑑. 主婦と生活社, 東京, pp. 1-128, 2011
5. 岡田幸雄(訳): 8. 感覚器の特性, 14. 嗅覚と味覚. (岡田泰伸 (訳者代表)) ギャノン生理学 原書 23 版. 丸善, 東京, pp. 176-184 及び 258-268, 2011

### B-d

1. 岡田幸雄: 副甲状腺 Ca 感知における DAG リパーゼからリポキシゲナーゼへの情報伝達, 平成 20-22 年度科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究成果報告書, pp. 1-6, 2011

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	0	0	2

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
戸田一雄・教授	日本疼痛学会 (理事)	日本疼痛学会
戸田一雄・教授	日本歯科東洋医学会 (常任理事)	日本歯科東洋医学会
戸田一雄・教授	痛みの神経科学研究会 (代表世話人)	痛みの神経科学研究会
戸田一雄・教授	長崎痛みの科学研究会 (代表世話人)	長崎痛みの科学研究会
戸田一雄・教授	歯科基礎医学会 (評議員)	歯科基礎医学会
戸田一雄・教授	日本生理学会 (評議員)	日本生理学会
戸田一雄・教授	日本疼痛学会誌-Pain Research 編集委員	日本疼痛学会
戸田一雄・教授	Journal of Neurosciences for Pain Research (編集委員)	痛みの神経科学研究会
戸田一雄・教授	日本歯科東洋医学会雑誌編集委員長	日本歯科東洋医学会
岡田幸雄・准教授	歯科基礎医学会(評議員)	歯科基礎医学会
岡田幸雄・准教授	日本生理学会(評議員)	日本生理学会
岡田幸雄・准教授	日本味と匂学会(評議員)	日本味と匂学会
藤山理恵・助教	生理学女性研究者の会(企画委員)	生理学女性研究者の会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
戸田一雄・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) ラット in vivo RNA 干渉による侵害受容遺伝子の制御と疼痛治療への応用
藤山理恵・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 味覚障害の疫学的スクリーニング法(臨床的味覚検査)の確立と実用化に関する研究